

これまた昨年のことですが、紹介するのは昨年末28日に寄合原農場で実施された「獣魂際」の様子です。熱帯農業科では、普段の授業で家畜（牛、豚、山羊、鶏等）の世話をしながら、その生命（いのち）をいただいて、加工・販売まで行っています。なので一年に一度、人間が生きていくために、犠牲になった動物たちの存在を再認識し、鎮魂と感謝の「慈しむ心」を育むための、大きな意味を持ち得た行事となります。いつもは、「獣魂碑」の前で学科生徒全員で参加するのですが、今回は、3密を避けるということで、特に関係の深い畜産コースの2,3年生と、飼育の授業で、と殺実習を実施した1年生が参加して実施されました。



ソーシャルディスタンスで実施



1年生も参加できました



校長先生にも参加していただきました



慈しみの心で手を合わせます



感謝のこころを忘れずに



1年生も心を込めて・・・